

トラマドール製剤について

5月の薬事審議会で、ツートラム®（速放部付きトラマドール塩酸塩徐放錠）が臨床使用薬剤となりました。今回はトラマドール製剤についてお伝えします。

トラマドールについて

トラマドールは弱オピオイドに分類される痛み止めです。しかし、モルヒネ等と異なり非麻薬であり、鎮痛作用はモルヒネの1/5とされています。

【適応】

非オピオイド鎮痛剤で治療困難な慢性疼痛、疼痛を伴う各種がんにおける鎮痛

【作用機序】

オピオイドμ受容体刺激
ノルアドレナリン、セロトニンの再取り込み阻害

【副作用】

悪心、嘔吐、便秘、傾眠、めまいなど

オピオイドとはオピオイド受容体に親和性を示す薬剤の総称で、他にモルヒネ、フェンタニル、オキシコドン、コティン等があるよ。非オピオイド鎮痛剤はアセトアミノフェンやNSAIDsのことを指すよ。



トラマドール製剤の比較

New

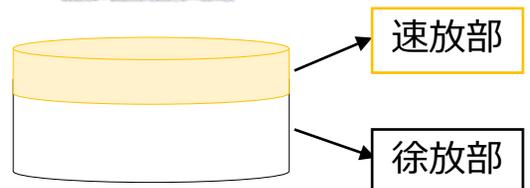
	トラマール®	ワントラム®	ツートラム®	トアラセット®
当院の採用剤形	25mg/錠	未採用	50mg/錠	トラマドール37.5mg + アセトアミノフェン325mg/錠
用法用量	1日100～300mgを以下の回数に分けて経口投与する ただし、1日400mgを超えないこと			<非がん性慢性疼痛> 1回1錠、1日4回 ただし、1日8錠を超えないこと
通常服用回数 (1回最大量)	1日4回 (100mg/回)	1日1回 (400mg/回)	1日2回 (200mg/回)	1日4回 (2錠/回)
特徴	がん疼痛におけるレスキューとしても使用可能。眠前内服の場合、明け方に痛みが出る場合がある。	1日1回で良い。	他に1日2回の薬があれば、その薬と合わせて飲むことができる。	アセトアミノフェンとの合剤のため、アセトアミノフェンを別に飲むより錠数が少なくなる。トラマドール単剤の製剤と適応疾患が異なる。

ツートラム®について

トラマドールは半減期が短く、1日4回投与しなければ安定した効果を得ることができず、人によっては明け方に痛みが出る場合があります（個人差あり）。

しかし、ツートラムは速放部と徐放部に分けた設計をしており、効果の出る時間は速いまま、効果の持続時間は長く、1日2回の服用で、安定した鎮痛効果を得ることができます。

ツートラムは嚙まずに服用しましょう。



薬局では、DI Newsで取り上げて欲しい内容を募集しております。何かございましたら、院内のメールにて薬局水野までご連絡ください。